

Goal 13

気候変動に具体的な対策を

CLIMATE ACTION

13 気候変動に 具体的な対策を



●この目標(Goal)の解説

気候変動による様々な災害は年を追うごとに多くなりつつあることから、取り組みの大小を問わず国際的に早急な取り組みを行う必要があります。目標13は気候変動とその影響に立ち向かうため、対策を取ることをテーマにしています。

気候変動には、気温の上昇・海面水位の上昇・異常気象などがあります。それにより農業生産・飲料水の確保・生態系など様々な面で世界的に大きな影響を与えています。中でも特に大きな問題となっているのは気候変動関連の災害です。近年、極端な気象現象(台風等)とそれに伴う被害(多数の死者や負傷者、交通網の麻痺、食料・飲料水・灌漑用水の不足、生物多様性の損失等)も増え、経済面でも大きな影響が出ています。それらの主な原因は、人類の活動により増えすぎた温室効果ガス(GHG)によって地球温暖化が進んでいることにあります。特に温室効果ガスの約76%を占める二酸化炭素の排出量が産業革命以降増加の一途をたどっていることが大きな要因です。

目標13では、そんな温室効果ガスの排出を原因とする地球温暖化現象が招く世界各地での気候変動やその影響を軽減することを目指しています。実現のための取り組みとして、2016年に気候変動抑制に取り組むための国際的な協定であるパリ協定が発効され、産業革命前からの平均気温上昇を2℃未満に抑えることを目標に各国の温室効果ガス削減目標が立てられました。日本でも2030年度の温室効果ガスの排出量を2013年度の水準から26%削減することを定め、省エネに取り組んでいます。

気候変動は地球に暮らす全ての生物に大きな影響を与えています。全ての生物が暮らしやすい環境に向け世界規模の早急な対策が必要です。



●大学生協での実践事例

岡山大学生協 MottaCa

組合員の多くは、入学準備の1つとして生協加入・共済加入を行うため、大学生活のリスクやそれに対する備えを“じぶんごと”として捉える最初のきっかけを逃している人も多いです。自分が共済に入っているか分からなかったり、給付申請忘れが発生したりしてしまうこともしばしばあります。そのような課題がある中、2018年にはキャンパスがある岡山を豪雨が襲いました。津島キャンパス北側の半田山で土砂崩れが発生し、岡山も災害とは無縁ではないと明らかになった一方で、組合員からは「避難場所が分からない」といった声が聞かれ、意識や備えが足りていないことがわかりました。以上のような状況を踏まえて、生協学生委員会が中心になって「MottaCa」を作りました。

説明用紙からミシン目に沿ってすぐに切り離せるようになっているこのカードはスマホケースや財布に入れて携帯できるサイズにしました。

カードには避難所や緊急連絡先などを書き込む欄を設けています。災害が起こった後に避難経路を確認したりや何を持ち出すか考えたりする余裕はなく、連絡先や避難場所はあらかじめ確認しておく必要があります。災害に対して備える段階、避難する段階、連絡を取る段階をこのカード1枚でイメージすることができ、災害を長い視野でとらえ、危機感をもってもしものときに備えられます。



●この目標に対して私たちができること

🎯 私たちができること / 自分の大学・大学生協でできることを考えてみよう！